

「背景肝の線維化と肝細胞癌切除後の長期予後」に関する研究

1. 研究の対象

2008年1月～2015年12月に当院で診断され、初回肝切除を受けた肝細胞癌の方

2. 研究目的・方法

肝細胞癌は手術により切除した後も再発することが多いと言われている病気です。肝臓自体が硬くなってしまうこと（線維化）が肝細胞癌の発生につながることは明らかになっていますが、それが再発に影響するかどうかについて検証した報告は多くありません。

当院で肝細胞癌の手術を受けて、5年以上再発しないで通院されている患者さんが多数おられる一方で、手術後すぐに再発してしまい何回も肝細胞癌の治療を受けられる患者さんもおられます。

肝細胞癌が手術後に早く再発してしまう場合と再発せず長く過ごすことができる場合がありますが、この研究では肝臓の線維化の程度が軽い方と高度な方の手術前のデータを比較検討することで手術前に再発のしやすさが予測できるかを調べることを目的としています。

情報の収集には当院電子カルテの情報、手術台帳等を使用します。

研究期間は病院長承認日から2021年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：性別、年齢、肝炎ウイルス感染状況、診断名、身長、体重、肝障害度、血液検査データ、手術治療内容、組織学的診断、線維化の程度、再発の有無、再発治療の内容、無再発期間、生存期間 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者

磐田市大久保 512-3 TEL 0538-38-5000

磐田市立総合病院 消化器外科 神藤 修